

### 風が吹けば桶屋が儲かる？

副院長兼循環器内科部長 俵原 敬

少し前だが、高校生の息子が“ギリシャ危機と日本”について小論文を書けという宿題がでたが、よく分からないというので、私が教えてあげることになった。ギリシャは、公務員が非常に多い、年金が多い、など国民に優しすぎる政策をとっていた。ギリシャ危機とは、ギリシャの隠蔽されていた財政赤字が2010年に発覚したことが発端の経済危機のことで、ギリシャ国債が暴落し、ユーロ圏だけでなく、世界全体な株価下落へとつながったことを言う。リーマンショック、ギリシャ危機で世界の基軸通貨のうちドルとユーロが安くなり、相対的に(別に経済的に良くもないのに)円が高くなった。そのため輸出産業が大打撃、云々と。しばし講釈を述べたところで、風が吹けば桶屋が儲かるみたいな関係(の逆バージョン?)かな、と一言。“(息子)…”。ところで、風が吹けば桶屋が儲かるって知っている?。(息子)知らない”とのこと。

風が吹けば桶屋が儲かるとは日本のことわざで、ある事象の発生により一見すると全く関係の無いような思わぬ所・物事に対して影響が出ることの例えである。風が吹けば砂ぼこりが舞い、人々の目に入る。それによって目の病気にかかる者が増え盲人が増える。盲人が増えると三味線の需要が増え、三味線には猫皮が使われるため猫が殺される。そうするとネズミが増えて桶がかじられてしまい、その結果桶屋が繁盛するというもの(解釈は

いろいろありますが)。最近では三味線に猫の皮が使われていることを知らない人は多いし、風呂桶も水戸黄門の由美かおるの入浴シーン(去年で終了。そもそも若者は見たことがないかも)でしか見かけなくなりましたので、知らないのも無理はないか。

ところで、医学ではこの手の話は多い。たとえば、いびきのひどい人に、心筋梗塞や脳卒中が多いことはご存知ですか。いびきが多い人は、閉塞性睡眠時無呼吸症候群を有している人が圧倒的に多い。もともとメタボリック症候群や高血圧、糖尿病など合併することも多いが、睡眠時無呼吸症候群があると睡眠中の血圧変動・心拍変動が大きく、かつ交感神経活性や酸化ストレスが高まっているため動脈硬化が進行する。動脈硬化のひどくなった血管は血栓で閉塞しやすくなる。よって心筋梗塞や脳卒中が多くなる。心筋梗塞や脳卒中が多くなり重症患者さんの入院が増え病院が儲かる。こんな、風が吹けば桶屋が儲かる的な話は、いただけない。もちろん心筋梗塞になれば、我々は一生懸命治療しますが、大病を発症させない予防が第一と思いませんか。たかがいびきと、あなどるなかれ。



### やさしい 疾患手帳 心房細動

循環器内科医師 諏訪 賢一郎



Profile プロフィール 氏名/諏訪 賢一郎

- 所属…循環器内科
- 専門分野…内科・循環器科一般
- 自己PR…患者様に「浜松赤十字病院に来て良かった」と思ってもらえるように、日々心掛けています。
- 趣味…JAZZ観賞、ギター、テニス
- 星座…カニ座 ● 血液型…AB型

心房細動は、不整脈の一種で動悸や息切れ等の症状があります。無症状の方もいますが、一般に心房という心臓の部屋で異常な電気信号が発生し、そのために心房が小刻みに震えるようになります。心電図では正常洞調律でみられる心房波がなくなり、f波と呼ばれる小さな波の中に心室波が不規則に並びます。しばしば心室波の間隔が狭い頻脈となり心不全の原因となったり、心房内の血流がよどむために血栓を生じ、それが血流ののって脳に飛んでいき脳梗塞を生じることがあります。脳梗塞の中でも心房細動が原因となるもの(心源性塞栓)はその他の脳梗塞よりも梗塞領域が大きくなり予後不良です。

原因としては、加齢、高血圧、心臓弁膜症や拡張型心筋症などの心疾患、甲状腺機能亢進症等の疾患だけでなく、飲酒や喫煙、過労、ストレス、睡眠不足などの生活習慣等も影響を及ぼします。

治療は、まず心房細動発作を停止させるために電氣的除細動(電気ショック)や抗不整脈薬の投与を行

います。発作予防のためには、抗不整脈薬の内服継続を行います。また、心房細動を停止できなかった方には頻脈を抑える治療として、βブロッカーやカルシウム拮抗薬の内服を行います。さらに発作性心房細動の方も永続性・慢性心房細動の方も、心房内血栓症の予防のためにワーファリンやプラザキサという抗凝固薬の内服が必用です。心房細動を指摘された方や、動悸・息切れを自覚する方は、循環器科へご相談ください。



### 信頼される病院をめざして ~患者サービス向上への取り組み紹介~

職場改善推進委員会

当院では、平成20年度から様々な職場改善活動に取り組んでいます。この活動は、病院で働く委託・派遣を含む全ての職員が、患者・利用者本位の医療及び看護を実践するために、院内で発生する様々な問題を自ら改善又は提案し、医療の質の向上を図るものです。昨年8月から12月までの下半期で141件もの改善・提案があり、この中で優秀な63例を1月に全職員参加の下、表彰しました。今回は、その一部を紹介します。

#### 表彰 グランプリ

##### 【手術室の効率的利用】

提案者：小幡麻酔科部長、大西手術室看護師長

改善内容：手術申込み順で受けていた全身麻酔を各科曜日別の全身麻酔枠を決めたことで、偏りなく手術が行われるようになった。患者さんにはできる限り待たせないように手術予定日を決められるようになった。



表彰を受ける小幡医師(左)と大西看護師

#### 表彰 準グランプリ

##### 【ちょっとしたアイデアで業務を効率化。患者さんと向き合う時間増大計画】

提案者：佐藤5東棟看護師長

改善内容：看護師の業務は年々事務的な作業が増え、患者さんと向き合う時間が減少している。そこで、今まで以上に患者さんと向き合う時間を増やすため業務を見直し、効率化することで1ヵ月当たり22.7時間もの時間を実現した。また、医療の安全性を向上させることにも成功した。



大きくなり認証しやすくなった注射ラベルのバーコード

#### 表彰 サービス向上賞

##### 【傾聴講座の定期開催】

提案者：ボランティアサークル「陽だまり」

改善内容：毎週1回病棟の食堂で傾聴ボランティアを行っているため、傾聴に関する講座や研修会を定期的で開催し、スキルアップすることで、より患者さんの立場に立ったボランティア活動が行われた。



患者さんの話に耳を傾けるボランティアメンバー

##### 【自動販売機の改善】

提案者：売店

改善内容：車椅子の方や高齢者の方でも使いやすいよう、売店にある自動販売機をユニバーサルデザイン(誰でも使いやすいように工夫されたデザイン)にした。



設置されたユニバーサルデザインの自動販売機

### 静岡新聞健康シリーズ 第62回 日赤いきいき健康塾

- 演 題：『きちんときれいに治すための形成外科のお話 ~切り取るだけが外科手術ではない~』
- 講 師：浜松赤十字病院 形成外科部長 岡本年弘
- 日 時：2012年3月10日(土) 開場13時30分 開演14時00分
- 場 所：浜松赤十字病院 2階研修ホール

【お問い合わせ】 浜松赤十字病院 総務課 社会係 電話：053-401-1111

